

菊池広域連合告示第20号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

令和7年12月1日

菊池広域連合長 吉 本 孝 寿

菊池広域連合の財政事情

令和7年12月1日公表

目 次

まえがき	1
1 令和7年度上半期における一般会計予算の執行状況	2
2 令和7年度上半期における土地取得特別会計予算の執行状況	3
3 令和7年度関係市町負担金の状況	3
4 広域連合財産の状況	4～6
5 令和6年度における一般会計決算の状況	7～14
6 令和6年度における土地取得特別会計決算の状況	15～18

ま え が き

ここに公表します「財政事情」は、菊池地域住民の皆様に広域連合の財政事情をお知らせすることにより、広域連合財政の実態と主要な施策についてご理解をいただき、関係市町の発展についてご理解・ご協力を得るためのものです。

今回は、令和7年度上半期（令和7年4月1日から令和7年9月30日）における予算の執行状況、令和6年度における決算の状況などを主な内容としております。

1 令和7年度上半期における一般会計予算の執行状況

1) 歳入

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	収入済額	収入未済額	収入率
1 分担金及び負担金	3,927,940	0	3,927,940	3,142,352	785,588	80.0
2 使用料及び手数料	230,068	0	230,068	127,454	102,614	55.4
3 国庫支出金	2,417	0	2,417	0	2,417	—
4 県支出金	5,202	0	5,202	0	5,202	0.0
5 財産収入	3,384	0	3,384	1,338	2,046	39.5
6 繰入金	734,116	7,276	741,392	0	741,392	0.0
7 繰越金	22,000	0	22,000	22,000	0	100.0
7 繰越金 (繰越明許費)	3,123	0	3,123	3,123	0	100.0
8 諸収入	222,900	0	222,900	119,498	103,402	53.6
9 連合債	312,900	0	312,900	0	312,900	0.0
歳入合計	5,464,050	7,276	5,471,326	3,415,765	2,055,561	62.4

2) 歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	執行済額	残 額	執行率
1 議会費	6,797	0	6,797	596	6,201	8.8
2 総務費	100,652	1,325	101,977	29,423	72,554	28.9
3 民生費	86,677	0	86,677	17,365	69,312	20.0
4 衛生費	2,104,681	1,059	2,105,740	558,850	1,546,890	26.5
4 衛生費 (繰越明許費)	3,123	0	3,123	3,123	0	100.0
5 消防費	2,142,547	4,901	2,147,448	811,818	1,335,630	37.8
6 公債費	997,573	0	997,573	496,046	501,527	49.7
7 予備費	22,000	△ 9	21,991	0	21,991	0.0
歳出合計	5,464,050	7,276	5,471,326	1,917,222	3,554,104	35.0

2 令和7年度上半期における土地取得特別会計予算の執行状況

1) 歳入

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	収入済額	収入未済額	収入率
1 財産収入	0	0	0	0	0	—
2 繰入金	4,349	0	4,349	3,689	660	84.8
歳入合計	4,349	0	4,349	3,689	660	84.8

2) 歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額 流充用額	予算現額	執行済額	残 額	執行率
1 諸支出金	3,334	0	3,334	0	3,334	0
2 公債費	1,015	0	1,015	778	237	76.7
歳入合計	4,349	0	4,349	778	3,571	17.9

3 令和7年度関係市町負担金の状況

1) 市町負担金の状況

(単位：千円、%)

予算項目 市町名	当初予算額	補正予算額	予算現額	収入済額	収入率
菊池市	1,127,292	0	1,127,292	901,834	80.0
合志市	1,163,433	0	1,163,433	930,746	80.0
大津町	775,117	0	775,117	620,094	80.0
菊陽町	862,098	0	862,098	689,678	80.0
合 計	3,927,940	0	3,927,940	3,142,352	80.0

2) 市町負担金の内訳

(単位：千円)

負担金項目 市町名	管理費	介護 保険費	障害者総 合支援費	火葬場費	し尿 処理費	消防費	ごみ 処理費	合 計
菊池市	26,248	23,291	4,597	8,479	106,023	583,314	375,340	1,127,292
合志市	34,059	21,286	3,820	11,002	18,768	586,785	487,713	1,163,433
大津町	20,536	12,560	2,820	6,634	34,578	395,315	302,674	775,117
菊陽町	24,682	12,856	2,376	7,973	12,179	438,797	363,235	862,098
合 計	105,525	69,993	13,613	34,088	171,548	2,004,211	1,528,962	3,927,940

4 広域連合財産の状況

1) 土地及び建物

(1) 土地 (地積)

(単位: ㎡)

区 分			R7. 3. 31	R7. 4. 1 ～ R7. 9. 30	R7. 9. 30
			現 在 高	増 減 高	現 在 高
その他の 行政機関	消防施設	消防本部施設統合用地	2, 040. 15	0. 00	2, 040. 15
		北消防署	0. 00	909. 00	909. 00
		桜消防署	6, 186. 00	0. 00	6, 186. 00
公共用財産	その他の施設	火葬場	6, 698. 50	0. 00	6, 698. 50
		汚泥再生処理センター	11, 763. 00	0. 00	11, 763. 00
		東部清掃工場	12, 248. 16	0. 00	12, 248. 16
		環境美化センター	44, 461. 00	0. 00	44, 461. 00
		クリーンの森合志	188, 113. 00	0. 00	188, 113. 00
合 計			271, 509. 81	909. 00	272, 418. 81

(2) 建物 (延床面積)

(単位: ㎡)

区 分			R7. 3. 31	R7. 4. 1 ～ R7. 9. 30	R7. 9. 30
			現 在 高	増 減 高	現 在 高
その他の 行政機関	消防 施設	消防本部（南消防署）	1,957.07	0.00	1,957.07
		北消防署	2,377.05	0.00	2,377.05
		西消防署	1,211.89	0.00	1,211.89
		桜消防署	1,798.40	0.00	1,798.40
公共用財産	その他の施設	公用車庫	42.00	0.00	42.00
		火葬場	1,628.27	0.00	1,628.27
		汚泥再生処理センター	4,441.81	0.00	4,441.81
		東部清掃工場	3,555.50	0.00	3,555.50
		環境美化センター	4,905.27	0.00	4,905.27
		クリーンの森合志	9,652.27	0.00	9,652.27
		最終処分場	12,486.16	0.00	12,486.16
		旧杉水理立処分場浸出水処理施設	208.00	0.00	208.00
合 計			44,263.69	0.00	44,263.69

(3) 工作物 (総延長)

(単位: m)

区 分				R7. 3. 31	R7. 4. 1 ~ R7. 9. 30	R7. 9. 30
				現 在 高	増 減 高	現 在 高
公共用財産	その他の施設	汚泥再生処理センター	配水管 (塩化BPΦ250)	1,399.00	0.00	1,399.00
合 計				1,399.00	0.00	1,399.00

(3) 工作物 (延床面積)

(単位: ㎡)

区 分				R7. 3. 31	R7. 4. 1 ～ R7. 9. 30	R7. 9. 30
				現 在 高	増 減 高	現 在 高
その他の 行政機関	消防 施設	南消防署	救助技術訓練塔	0.00	0.00	0.00
		北消防署	プール (25m5コース)	275.00	0.00	275.00
		西消防署	サイクルポート	9.96	0.00	9.96
		桜消防署	駐輪場	8.64	0.00	8.64
		消防本部 (南消防署)	無線基地局鉄塔	0.00	0.00	0.00
		西消防署	無線基地局鉄塔	0.00	0.00	0.00
合 計				293.60	0.00	293.60

2) 物品

区 分			R7. 3. 31	R7. 4. 1 ～ R7. 9. 30	R7. 9. 30
			現 在 高	増 減 高	現 在 高
車 両	事務局庁用車		6	0	6
	消防本部庁用車		38	△ 1	37
備 品	事務局	例規集データベース	1	0	1
		印刷機	1	0	1
		複合機	1	0	1
		ドラフトチャンパー（2F水質試験室）	1	0	1
		遺体保冷库	1	0	1
		発電機	1	0	1
	消防本部	防災エアートント	1	0	1
		高度救急処置シミュレーターⅡ型	1	0	1
		体力錬成器具コンビネーションマシーン	1	0	1
		三連梯子	11	0	11
		高機能消防指令システム機器一式	1	0	1
		高度救命処置用訓練人形 （レサシアンシミュレータ・Simpad）	2	0	2
		自動体外式除細動器一式	10	0	10
		消防救急デジタル無線設備一式	1	0	1
		空気充填用高圧コンプレッサー一式	1	0	1
		油圧カッター	2	0	2
		ラムシリンダー	1	0	1
		油圧スプレッダー	2	0	2
		簡易画像探索機	1	0	1
		無人航空機	1	0	1
		除染シャワー	1	0	1
		送排風機	1	0	1
		マンホール救助器具	1	0	1
		赤外線サーマルカメラ	1	0	1
		人工呼吸器	6	0	6
		心電計(モニター)	8	0	8
		血中酸素飽和度測定器	1	0	1
		メインストレッチャー	6	0	6
		自動心肺蘇生器	5	0	5
		ポンプユニット	1	0	1
		重量物排除器具	1	0	1
		救助用支柱器具	1	0	1
		レスキューフレーム	1	0	1
		消防用設備等訓練機器	1	0	1
合 計			121	△ 1	120

3) 債権

(単位：千円)

区 分	R7. 3. 31	R7. 4. 1 ~ R7. 9. 30	R7. 9. 30
	現 在 高	増 減 高	現 在 高
貸 付 金	0	0	0
合 計	0	0	0

4) 基金

(単位：千円)

区 分	R7. 3. 31	R7. 4. 1 ~ R7. 9. 30	R7. 9. 30
	現 在 高	増 減 高	現 在 高
財政調整基金	565,082	38	565,120
旧東部清掃工場解体基金	545,958	0	545,958
消防施設整備基金	500,297	0	500,297
合 計	1,611,337	38	1,611,375

5) 公債残高

(単位：千円)

区 分			R7. 3. 31	R7. 4. 1 ~ R7. 9. 30	R7. 9. 30
			現 在 高	増 減 高	現 在 高
連 合 債	事務局		13,160,649	△ 408,629	12,752,020
	消防本部		1,211,076	△ 60,428	1,150,648
合 計			14,371,725	△ 469,057	13,902,668

6) 一時借入金残高

(単位：千円)

区 分	R7. 3. 31	R7. 4. 1 ~ R7. 9. 30	R7. 9. 30
	現 在 高	増 減 高	現 在 高
一時借入金残高	0	0	0
合 計	0	0	0

5 令和6年度における一般会計決算の状況

(1) 決算の状況

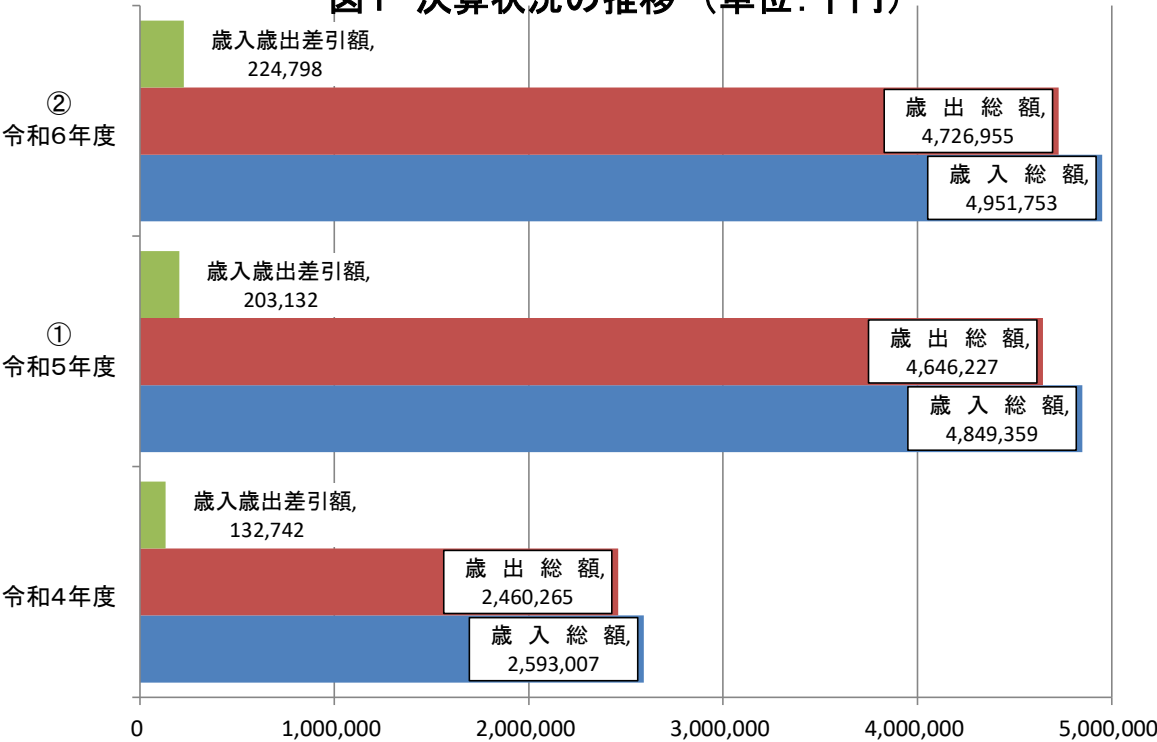
令和6年度決算は、歳入が主に関係市町負担金ごみ処理費分の増により、歳出が主に桜消防署建設に係る工事等の元金償還開始による公債費の増により、それぞれ増加しました。その結果、歳入総額が49億5千175万3千円、歳出総額が47億2千695万5千円となり、前年度に比べ、歳入総額で2.1%の増、歳出総額で1.7%の増となりました。

なお、歳入総額から歳出総額を引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、2億2千479万8千円で前年度から2千166万6千円増加しております。

令和4年度から令和6年度の決算状況の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)					
年 度 項 目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
歳 入 総 額	2,593,007	4,849,359	4,951,753	102,394	2.1
歳 出 総 額	2,460,265	4,646,227	4,726,955	80,728	1.7
歳入歳出差引額	132,742	203,132	224,798	21,666	10.7
翌年度へ繰越すべき財源	82,710	0	3,123	3,123	皆増
実 質 収 支	50,032	203,132	221,675	18,543	9.1
単年度収支	△ 56,707	△ 31,164	18,543	49,707	159.5
実質単年度収支	△ 117,076	△ 232,759	△ 56,342	176,417	75.8

図1 決算状況の推移 (単位:千円)



※用語の解説

- 「実質収支」…… 収支(歳入歳出差引額)から事業繰越等に伴い翌年度に繰り越すべき財源を差引いた額である。
* 実質収支＝形式収支－翌年度へ繰り越すべき財源
- 「単年度収支」…… 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた額であり、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。
* 単年度収支＝当該年度の実質収支－前年度の実質収支
- 「実質単年度収支」… 単年度収支に、当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は、赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようなものかを検証するものである。
* 実質単年度収支＝単年度収支＋財政調整基金積立額＋地方債繰上償還額－財政調整基金取崩し額

(2) 歳入の状況

前年度と比較すると、分担金及び負担金が5億5千437万3千円の増、主な要因は、ごみ処理費の増によるものです。使用料及び手数料が830万2千円の減、主な要因は、ごみ処分手数料の減によるものです。県支出金が571万8千円の減、主な要因は、県消防学校への消防職員の派遣終了に伴う負担金の減によるものです。財産収入が322万2千円の減、主な要因は、消防車両売却収入の減によるものです。繰入金が7千251万2千円の減、主な要因は、消防費の減によるものです。繰越金が2億5千197万5千円の減、主な要因は、ごみ処理費の減及び消防費の消防署建設に伴う繰越の減です。諸収入が1千335万円の減、主な要因は、阿蘇くまもと空港助成金の減によるものです。連合債が1億2千990万円の減です。主な要因は、消防費の消防署建設に伴う繰越の減です。寄附金が3千300万円の増です。主な要因は、救急に関する寄附金の増です。

令和4年度から令和6年度の歳入決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

歳入決算の状況

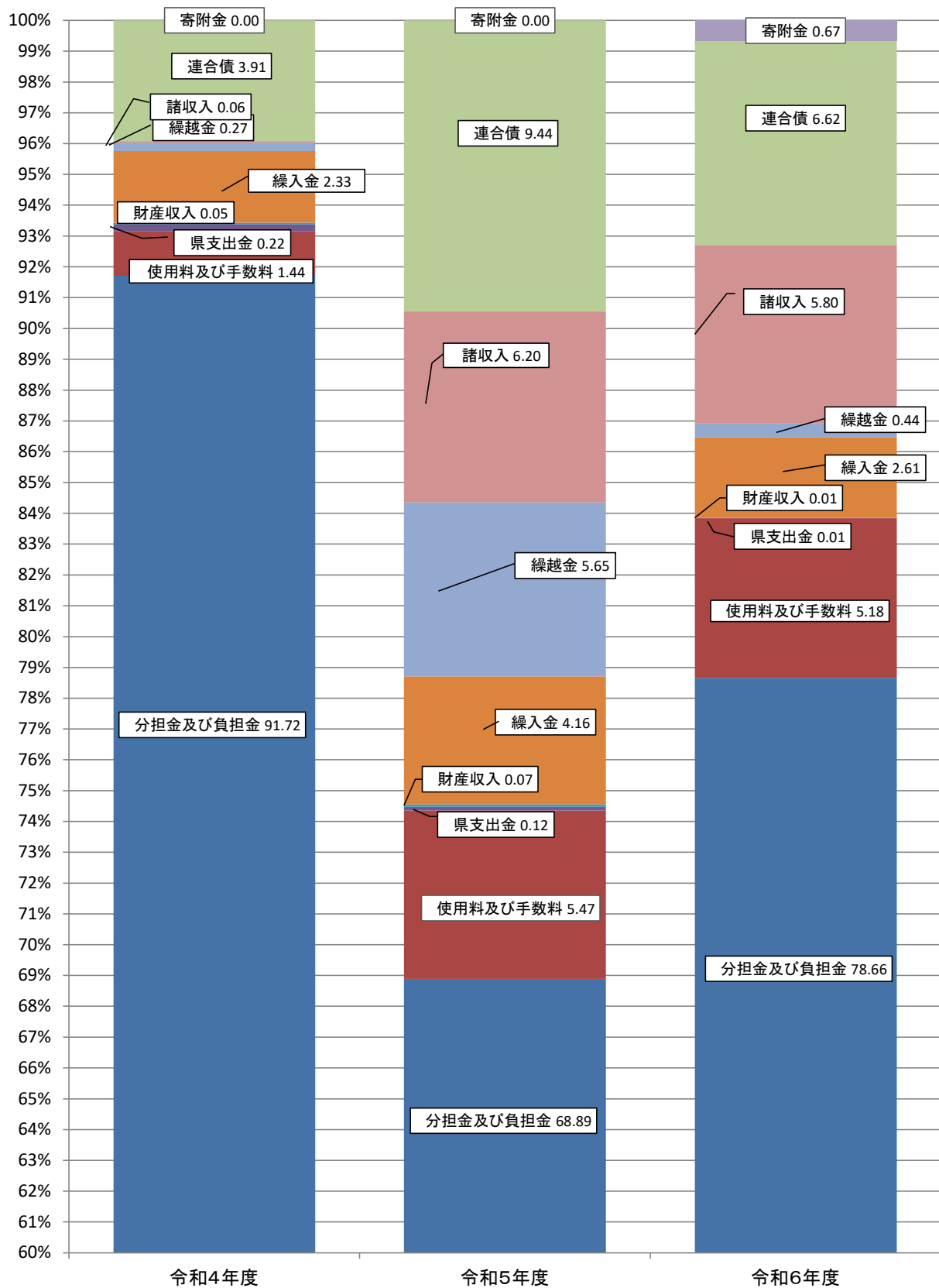
(単位:千円・%)

年 度 項 目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
分担金及び負担金	2,378,300	3,340,715	3,895,088	554,373	16.6
使用料及び手数料	37,206	264,992	256,690	△ 8,302	△ 3.1
国庫支出金	0	0	0	0	0.0
県支出金	5,715	6,032	314	△ 5,718	△ 94.8
財産収入	1,366	3,543	321	△ 3,222	△ 90.9
繰入金	60,456	201,654	129,142	△ 72,512	△ 36.0
繰越金	7,000	273,975	22,000	△ 251,975	△ 92.0
諸収入	1,464	300,548	287,198	△ 13,350	△ 4.4
連合債	101,500	457,900	328,000	△ 129,900	△ 28.4
寄附金	0	0	33,000	33,000	皆増
合 計	2,593,007	4,849,359	4,951,753	102,394	2.1

※用語の解説

- 分担金及び負担金・・・ 菊池広域連合を構成する市町(菊池市、合志市、大津町、菊陽町)からの負担金。菊池広域連合規約で事業ごとに負担割合を定めており、本連合の運営費の大半に充てられている。
- 使用料及び手数料・・・ 火葬場使用料、消防費手数料、ごみ処分手数料、行政財産使用料等で構成される。うち、ごみ処分手数料、火葬場使用料及び危険物施設許認可手数料で構成比の大半を占める。
- 国庫支出金・・・・・・ 国からの負担金、補助金等。
- 県支出金・・・・・・ 県からの負担金、補助金等。県消防学校派遣職員の人件費及び県事務移譲交付金。
- 財産収入・・・・・・ 財産運用収入(基金の運用に伴う利子)、財産売却収入(車両等の売却)。
- 繰 入 金・・・・・・ 基金繰入金(基金の取り崩しに伴う繰入金。単年度における構成市町の負担金が大幅に増加しないよう調整している。)、他会計繰入金(各会計相互において収入される経費で、他の会計から資金を移すこと。)
- 繰 越 金・・・・・・ 前年度から繰り越された額。
- 諸 収 入・・・・・・ 雑入等(他の歳入科目の区分に該当しないすべての収入)。
- 連 合 債・・・・・・ 特定の事業費等の財源に充てるため起こした地方債。
- 寄 附 金・・・・・・ 個人又は団体等から菊池広域連合に対してなされた寄附金。

図2 歳入決算構成比の推移(単位: %)



(3)-1 歳出の状況(目的別)

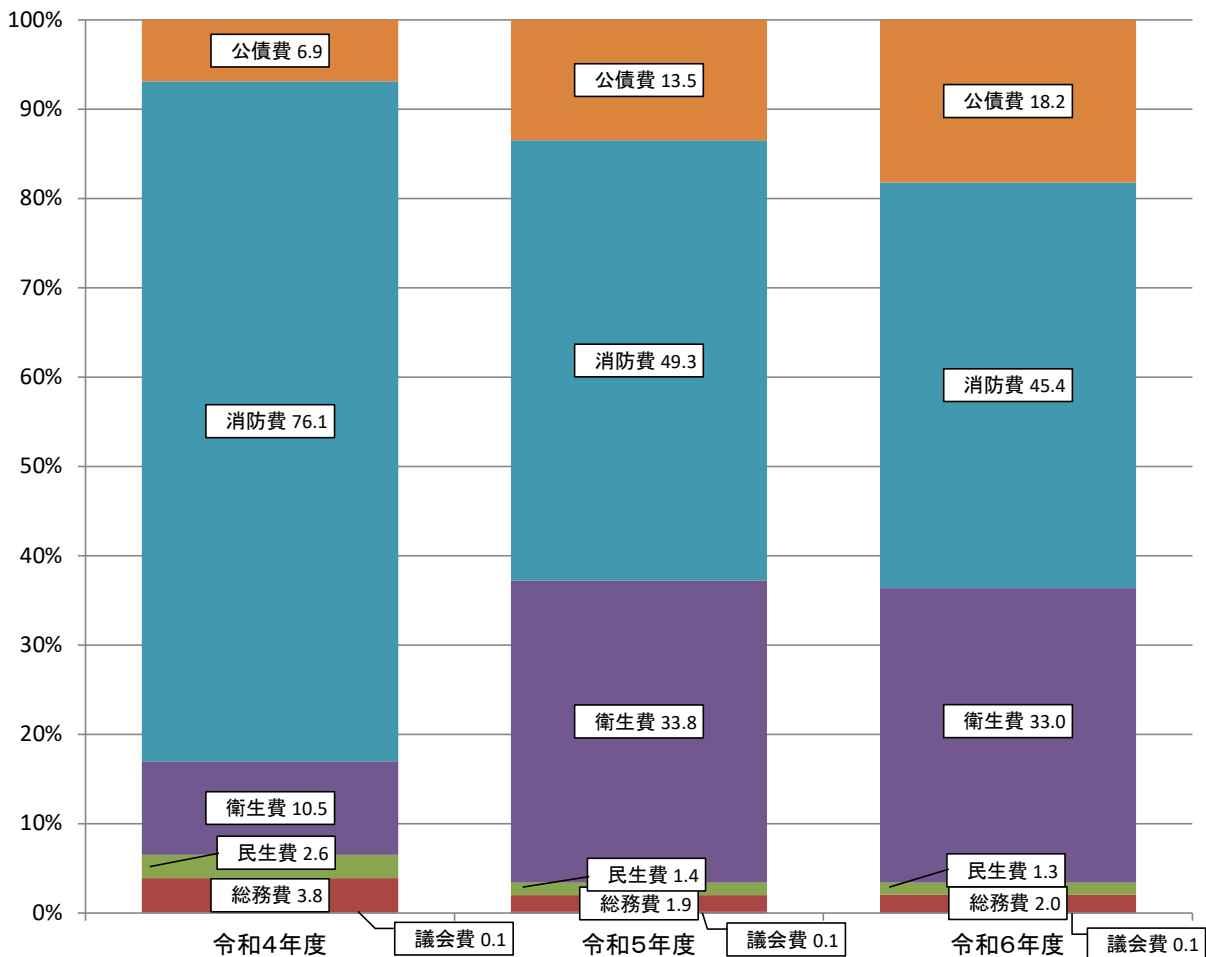
前年度と比較すると、議会費が301万6千円の減、主な要因は、議会視察研修の旅費の減によるものです。総務費が907万7千円の増、主な要因は、個人情報安全管理措置対応業務、ネットワーク整備業務等に係る委託料の増によるものです。民生費が380万1千円の減、主な要因は、異動による派遣職員の減に伴う負担金の減です。衛生費が1千259万円の減、主な要因は、環境影響評価事後調査業務等に係る委託料の減です。消防費が1億4千185万1千円の減、主な要因は、消防署建設の工事請負費の減によるものです。公債費が2億3千290万9千円の増、主な要因は、ごみ処理施設建設に係る地方債の元金償還の増によるものです。

令和4年度から令和6年度の目的別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

目的別歳出決算の状況

年 度 項 目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
議会費	1,774	5,597	2,581	△ 3,016	△ 53.9
総務費	94,380	87,641	96,718	9,077	10.4
民生費	63,953	64,127	60,326	△ 3,801	△ 5.9
衛生費	258,145	1,572,843	1,560,253	△ 12,590	△ 0.8
消防費	1,872,516	2,288,980	2,147,129	△ 141,851	△ 6.2
公債費	169,497	627,039	859,948	232,909	37.1
予備費	0	0	0	0	0.0
合 計	2,460,265	4,646,227	4,726,955	80,728	1.7

図3 目的別歳出決算の構成比の推移(単位: %)



(3)-2 歳出の状況(性質別)

前年度と比較すると、人件費が1億8千762万5千円の増、主な要因は、給与改定による給料、職員手当等の増によるものです。物件費が535万6千円の減、主な要因は、環境工場等管理業務の減によるものです。維持補修費が1千857万円の減、主な要因は、菊池火葬場分の工事の減によるものです。扶助費が375万円の増、主な要因は、児童手当の増によるものです。補助費等が234万9千円の減、主な要因は、介護保険費負担金の減によるものです。普通建設事業費が3億1千701万7千円の減、主な要因は、消防署建設工事の減によるものです。公債費が2億3千290万9千円の増、主な要因は、ごみ処理施設建設に係る地方債の元金償還の増によるものです。積立金が17万3千円の増、主な要因は、統合に伴う旧東部清掃工場解体基金積立金利子の増によるものです。

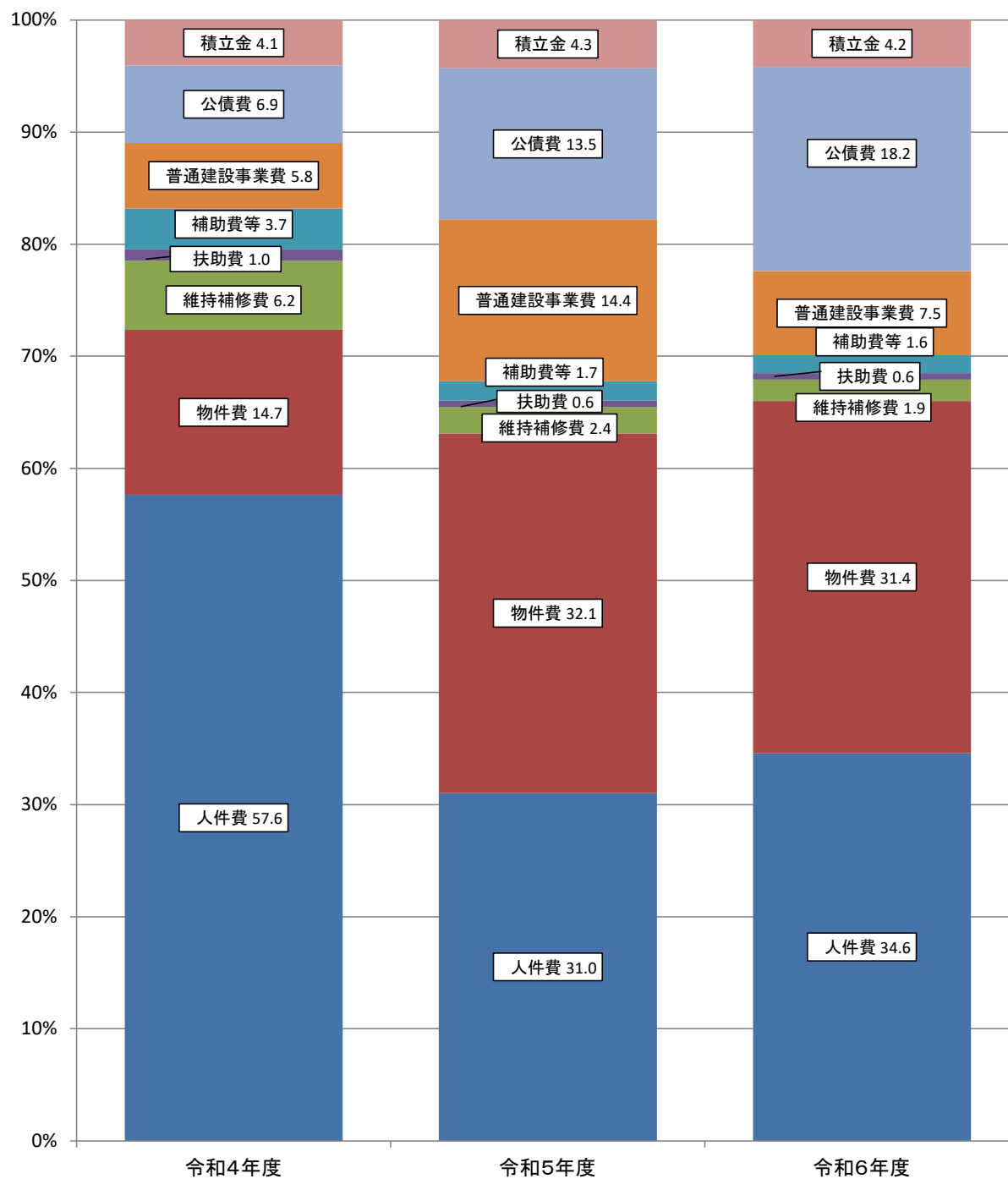
令和4年度から令和6年度の性質別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

性質別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

年 度 項 目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
人件費	1,416,946	1,442,406	1,630,031	187,625	13.0
物件費	362,108	1,489,956	1,484,600	△ 5,356	△ 0.4
維持補修費	151,687	109,851	91,281	△ 18,570	△ 16.9
扶助費	26,135	26,780	30,530	3,750	14.0
補助費等	90,134	79,101	76,752	△ 2,349	△ 3.0
普通建設事業費	143,614	670,509	353,492	△ 317,017	△ 47.3
公債費	169,497	627,039	859,948	232,909	37.1
積立金	100,144	200,148	200,321	173	0.1
繰出金	0	437	0	△ 437	皆減
合 計	2,460,265	4,646,227	4,726,955	80,728	1.7

図4 性質別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



(4) 基金の状況

構成市町からの負担金を軽減するため、令和6年度は7千492万4千円を財政調整基金から繰入れました。その結果、財政調整基金の令和6年度末残高は、5億6千508万3千円となりました。また、消防機関の施設及び防災基盤施設の計画的な整備のため、消防施設整備基金に1億11万4千円を積立てるとともに、旧東部清掃工場解体に係る費用に充てるため、5千421万8千円を基金から繰入れ、1億16万8千円を積立てました。

なお、基金の状況の推移及び使途別の基金内訳は以下のとおりです。

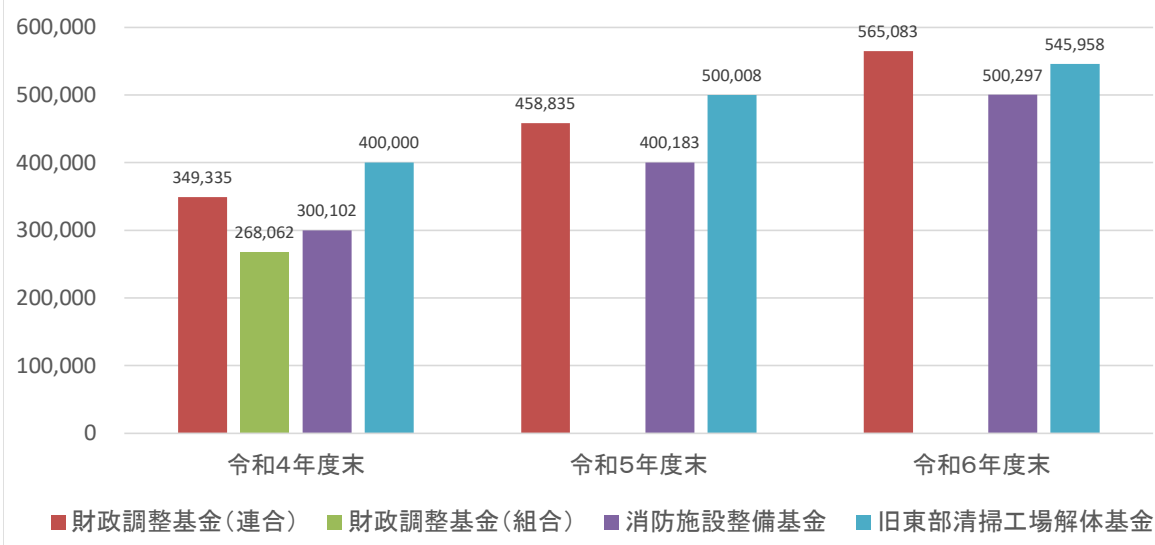
(単位:千円)

基金の名称	設置の目的	令和4年度末 現在高	令和5年度末 現在高 A	令和6年度			令和6年度末 現在高 A+B-C+D
				歳出決算額 B	取崩・繰出 C	歳計剰余金 処分D	
財政調整基金 (菊池広域連合)	財源の調整	349,335	458,835	39	74,924	181,133	565,083
財政調整基金 (菊池環境保全組合)	財源の調整	268,062	-	-	-	-	-
消防施設整備基金	消防施設整備	300,102	400,183	100,114	0	0	500,297
旧東部清掃工場解体基金	旧東部清掃 工場解体	400,000	500,008	100,168	54,218	0	545,958

※財政調整基金の菊池環境保全組合分は令和5年度に菊池広域連合分と統合

※旧東部清掃工場解体基金の「令和4年度末の現在高」は統合前の旧菊池環境保全組合における現在高

図5 基金の状況の推移(単位:千円)



使途別の基金内訳

項 目	令和6年度末現在高
管 理 費 等	0円
職 員 研 修 費	1,687,435円
介 護 保 険 費	4,529,481円
障 害 者 福 祉 費	1,647,855円
火 葬 場 費	36,510,246円
し 尿 処 理 費	121,515,574円
ご み 処 理 費	251,256,021円
消 防 費	147,935,542円
合 計	565,082,154円

(5) 連合債の状況

連合債について、令和6年度に新規発行を4件(3億2千800万円)行い、令和6年度末現在高は統合に伴う菊池環境保全組合の一般廃棄物処理事業債を含め142億4千882万5千円となっています。

発行額の内訳は、ごみ処理施設整備事業の一般単独事業債、緊急防災・減災事業債及び消防施設整備事業の公共施設等適正管理推進事業債(泉ヶ丘消防署解体事業分)に伴う借入れを行ったものです。

連合債の利率別の構成比は、0.5%以下が95.81%、0.5%超～1.5%以下が4.16%、1.5%超～2.0%以下が0.03%となっています。

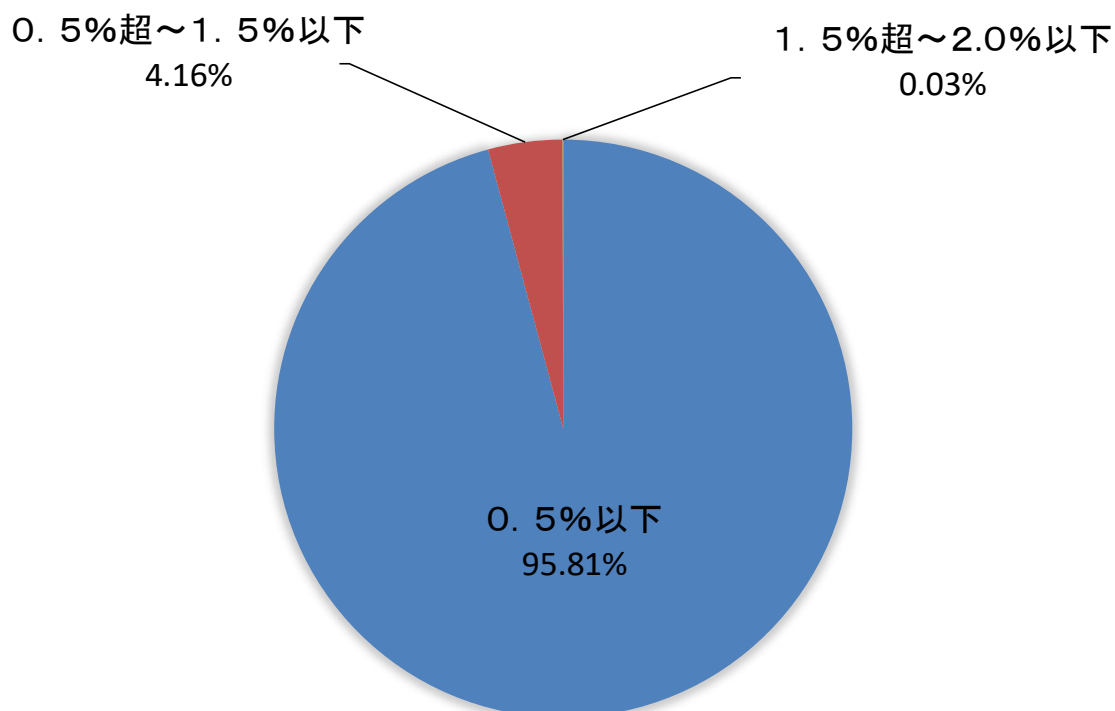
年度毎の連合債の状況と令和6年度末現在高の利率別の構成比は、以下のとおりです。

(単位:千円)

起債区分	令和4年度末 現在高	令和5年度末 現在高 A	令和6年度 発行額 B	令和6年度元利償還額			令和6年度末 現在高 E=A+B-C
				元 金 C	利 子 D	合 計 D	
一般廃棄物処理事業債	14,305,064	13,859,167	0	704,518	48,164	752,682	13,154,649
一般単独事業債	188,448	527,432	6,000	29,638	2,529	32,167	503,794
一般補助施設整備事業債	0	0	0	0	0	0	0
施設整備事業債(一般財源化分)	32,464	27,386	0	6,982	91	7,073	20,404
都道府県貸付金等	28,000	21,000	0	7,000	0	7,000	14,000
緊急防災・減災事業債	293,696	294,208	298,800	60,230	796	61,026	532,778
公共施設等適正管理推進事業債	0	0	23,200	0	0	0	23,200
合 計	14,847,672	14,729,193	328,000	808,368	51,580	859,948	14,248,825

※一般廃棄物処理事業債の「令和4年度末 現在高」は統合前の旧菊池環境保全組合における現在高

令和6年度末現在高の利率別構成比



6 令和6年度における土地取得特別会計決算の状況

(1) 決算の状況

公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を、あらかじめ取得する事業に係る歳入歳出を経理し、菊池広域連合による土地の取得の円滑化を図るため、土地取得特別会計を設置し、令和5年度から運用しています。

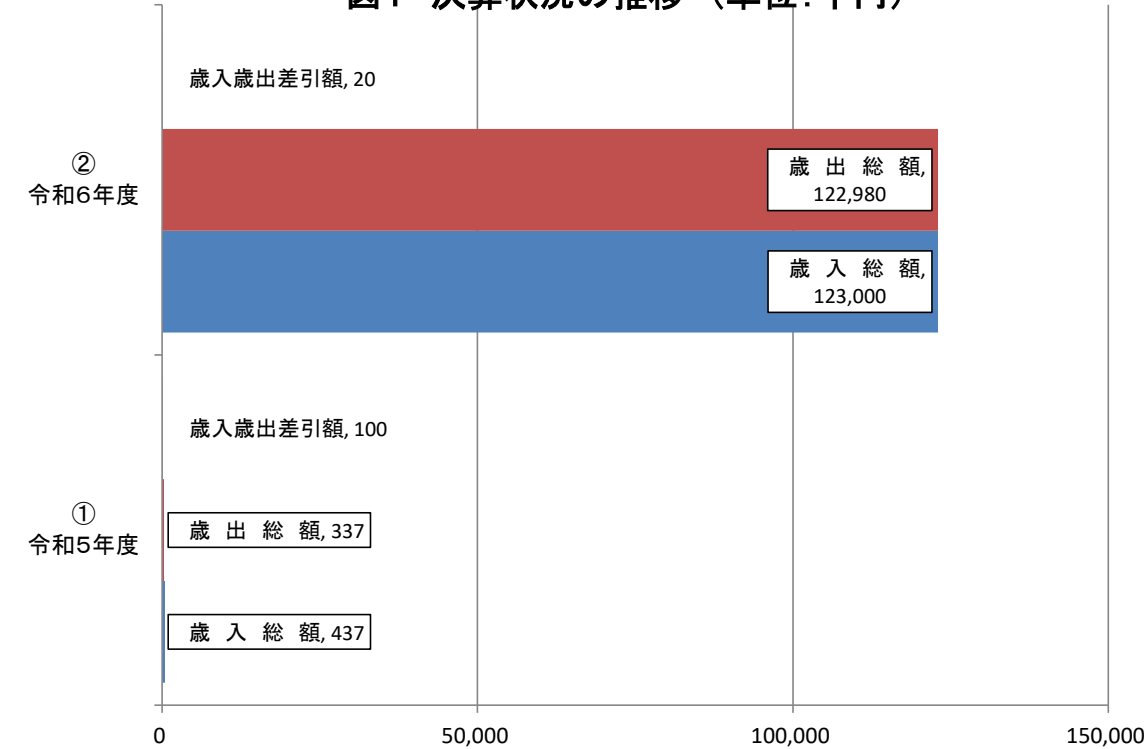
令和6年度決算は、歳入総額が1億2千300万円、歳出総額が1億2千298万円となり、歳入総額から歳出総額を引いた歳入歳出差引額（形式収支）は、2万円で前年度から2万円増加しております。

令和4年度から令和6年度の決算状況の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

年度 項目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
歳 入 総 額	-	437	123,000	122,563	28,046.5
歳 出 総 額	-	337	122,980	122,643	36,392.6
歳入歳出差引額	-	100	20	△ 80	△ 80.0
翌年度へ繰越すべき財源	-	100	0	△ 100	皆減
実 質 収 支	-	0	20	20	皆増
単年度収支	-	0	20	20	皆増
実質単年度収支	-	0	20	20	皆増

図1 決算状況の推移（単位:千円）



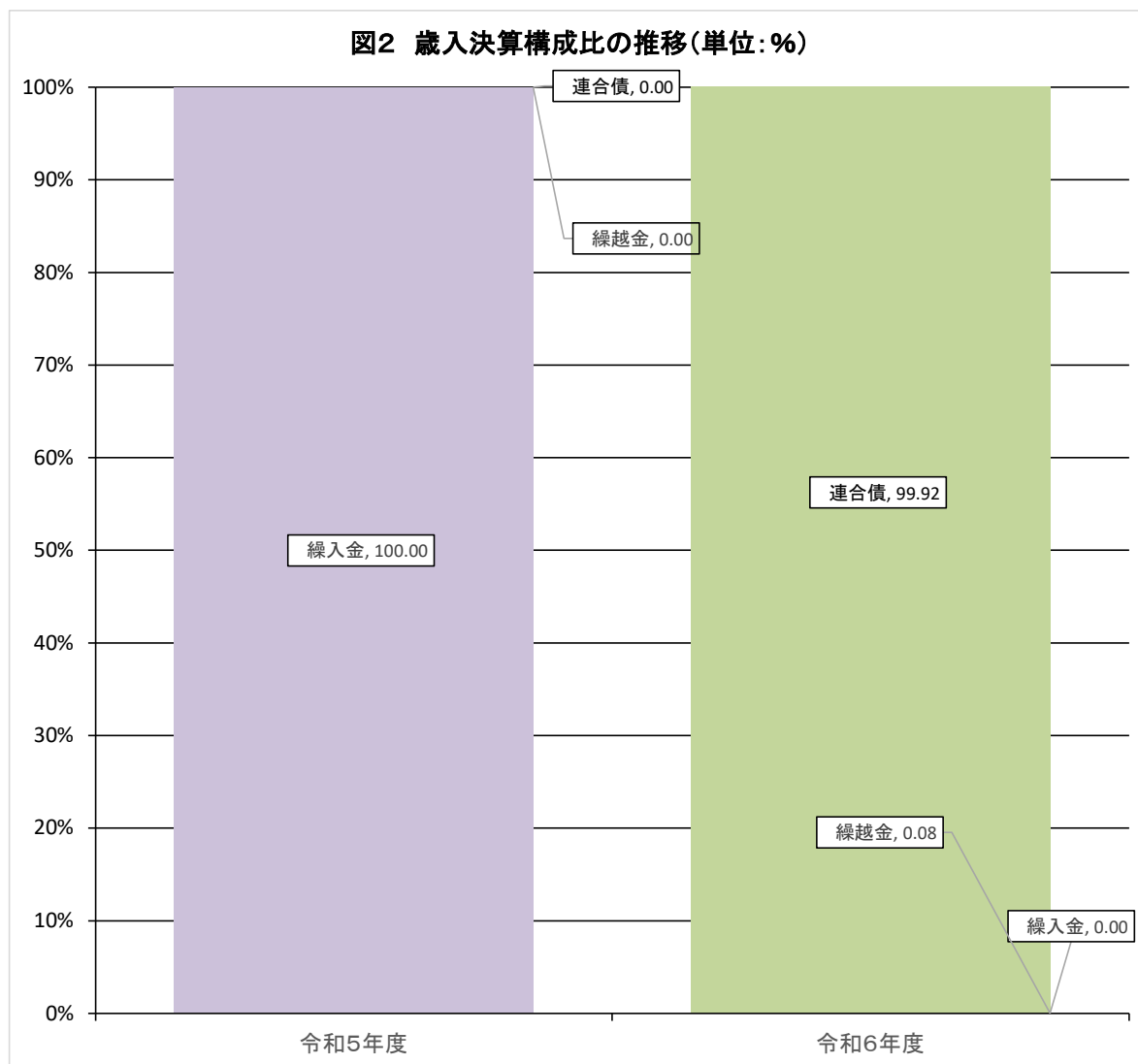
(2) 歳入の状況

前年度と比較すると、繰入金が43万7千円の減、要因は、一般会計繰入金の減によるものです。繰越金が10万円の増、要因は、繰越明許に係る繰越金の増によるものです。連合債が1億2千290万円の増、要因は、消防本部用地購入に伴う増です。令和4年度から令和6年度の歳入決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

歳入決算の状況

(単位:千円・%)

年度 項目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
繰入金	-	437	0	△ 437	皆減
繰越金	-	0	100	100	皆増
連合債	-	0	122,900	122,900	皆増
合 計	-	437	123,000	122,563	28,046.5



(3)-1 歳出の状況(目的別)

前年度と比較すると、諸支出金が1億2千264万3千円の増、主な要因は、消防本部用地に係る土地購入費の増によるものです。

令和4年度から令和6年度の目的別歳出決算の状況は、以下のとおりです。

目的別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

年度 項目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
諸支出金	-	337	122,980	122,643	36,392.6
合 計	-	337	122,980	122,643	36,392.6

(3)-2 歳出の状況(性質別)

前年度と比較すると、物件費が10万3千円の増、要因は登記手数料の増によるものです。普通建設費が1億2千254万円の増、主な要因は、消防本部用地に係る土地購入費の増によるものです。

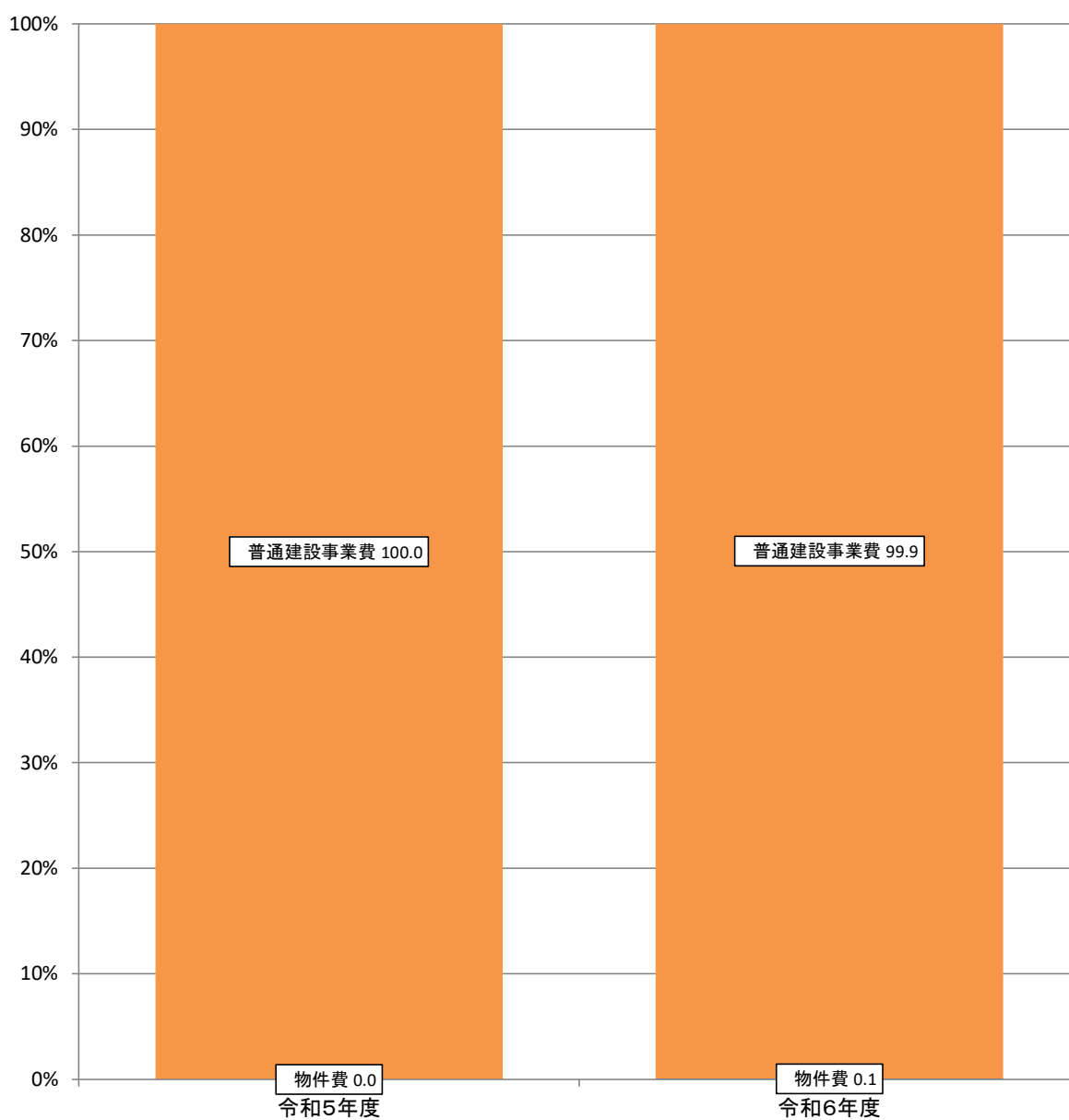
令和4年度から令和6年度の性質別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

性質別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

年度 項目	決 算 額			前年度比較	
	令和4年度	① 令和5年度	② 令和6年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
物件費	-	0	103	103	皆増
普通建設事業費	-	337	122,877	122,540	36,362.0
合 計	-	337	122,980	122,643	36,392.6

図3 性質別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



(4) 連合債の状況

連合債について、令和6年度に新規発行を1件(1億2千290万円)行い、令和6年度末現在高は1億2千290万円となっています。

発行額の内訳は、消防本部用地購入に係る公共用地先行取得等事業債に伴う借入れを行ったものです。

連合債の利率別の構成比は、0.5%超～1.5%以下が100.00%となっています。

年度毎の連合債の状況と令和6年度末現在高の利率別の構成比は、以下のとおりです。

(単位:千円)

起債区分	令和4年度末 現在高	令和5年度末 現在高 A	令和6年度 発行額 B	令和6年度元利償還額			令和6年度末 現在高 E=A+B-C
				元 金 C	利 子	合 計 D	
公共用地先行取得等事業債	0	0	122,900	0	0	0	122,900
合 計	0	0	122,900	0	0	0	122,900

令和6年度末現在高の利率別構成比

